

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成24年10月11日(2012.10.11)

【公表番号】特表2012-502124(P2012-502124A)
 【公表日】平成24年1月26日(2012.1.26)
 【年通号数】公開・登録公報2012-004
 【出願番号】特願2011-525504(P2011-525504)
 【国際特許分類】

C 0 8 G 63/12 (2006.01)
 C 0 9 D 167/00 (2006.01)
 C 0 9 D 169/00 (2006.01)
 C 0 9 D 175/04 (2006.01)
 C 0 9 J 167/00 (2006.01)
 C 0 9 J 169/00 (2006.01)
 C 0 9 J 175/04 (2006.01)
 C 0 9 D 5/03 (2006.01)
 C 0 9 D 5/00 (2006.01)
 C 0 7 C 31/27 (2006.01)
 C 0 7 C 33/26 (2006.01)
 C 0 7 C 29/38 (2006.01)
 C 0 7 C 29/141 (2006.01)

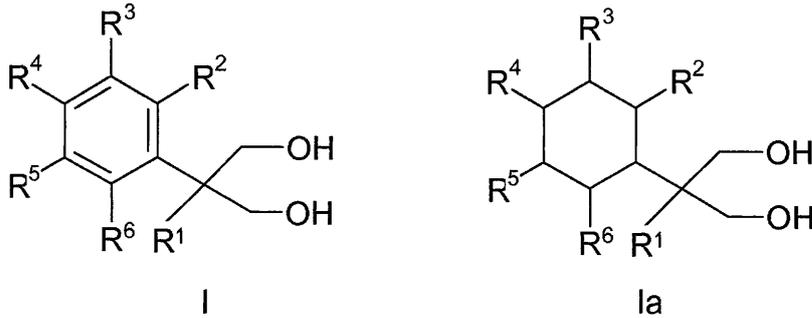
【 F I 】

C 0 8 G 63/12
 C 0 9 D 167/00
 C 0 9 D 169/00
 C 0 9 D 175/04
 C 0 9 J 167/00
 C 0 9 J 169/00
 C 0 9 J 175/04
 C 0 9 D 5/03
 C 0 9 D 5/00 Z
 C 0 7 C 31/27
 C 0 7 C 33/26
 C 0 7 C 29/38
 C 0 7 C 29/141

【手続補正書】
 【提出日】平成24年8月21日(2012.8.21)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

構成成分としての三官能価アルコールとジカルボン酸またはポリカルボン酸、およびモノマー化合物とを反応させることにより得られるポリエステルであって、モノマー化合物として、式Iの置換された2-アリール-2-アルキル-1,3-プロパンジオール、または式Iaの置換された2-シクロヘキシル-2-アルキル-1,3-プロパンジオール

【化1】



[式中、 R^1 は、1～10個の炭素原子を有する線状もしくは分枝鎖状のアルキル基を表し、かつ $R^2 \sim R^6$ は、相互に無関係に、水素、メチル、エチル、プロピル、イソ-プロピル、*n*-ブチル、*t*-ブチルの群から選択されている]または式IおよびIaの化合物のアルコキシル化誘導体を使用したものであるポリエステル。

【請求項2】

三官能価アルコールが、グリセリン、トリメチロールプロパン、ブタントリオールおよびトリメチロールエタンの群から選択されていることを特徴とする、請求項1記載のポリエステル。

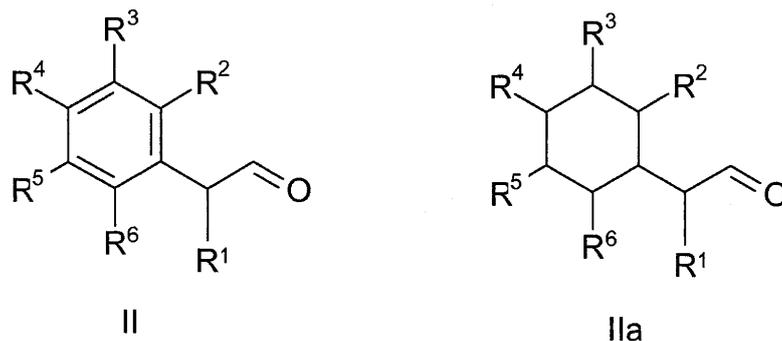
【請求項3】

式Iまたは式Iaのモノマー化合物、またはそのアルコキシル化誘導体として、式中で R^1 が、1～4個の炭素原子を有する線状アルキル基を表し、かつ $R^2 \sim R^6$ が水素であるものを使用することを特徴とする、請求項1または2記載のポリエステル。

【請求項4】

式Iまたは式Iaの化合物が、式IIまたは式IIaのアルデヒド

【化2】



[式中、 R^1 および $R^2 \sim R^6$ は、前記のものを表す]と、ホルムアルデヒドとを、アルドール・カニッツァー反応において、またはアルドール縮合において反応させ、その後に水素化することによって得られるものであることを特徴とする、請求項1から3までのいずれか1項記載のポリエステル。

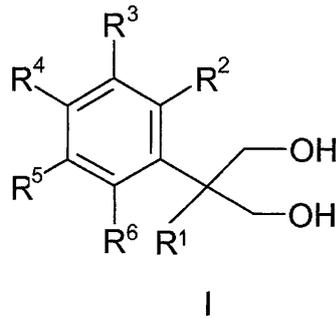
【請求項5】

式Iaの化合物が、相応する、同様に置換された式Iの化合物[式中、 R^1 および $R^2 \sim R^6$ は前記のものを表す]の水素化によって得られるものであることを特徴とする、請求項1から3までのいずれか1項記載のポリエステル。

【請求項6】

モノマー化合物として、式I

【化 3】



【式中、 R^1 は、1～10個の炭素原子を有する線状もしくは分枝鎖状のアルキル基を表し、かつ $R^2 \sim R^6$ は、相互に無関係に、水素、メチル、エチル、プロピル、イソ-プロピル、*n*-ブチル、*t*-ブチルの群から選択されている】の置換された2-アリール-2-アルキル-1,3-プロパンジオールまたは式Iの化合物のアルコキシル化誘導体を使用することを特徴とする、請求項1または2記載のポリエステル。

【請求項7】

熱可塑性組成物を製造するための請求項1から6までのいずれか1項記載のポリエステルの使用。

【請求項8】

請求項1から6までのいずれか1項記載のポリエステルおよび/またはポリエステルの繰返単位を含有する熱可塑性組成物。

【請求項9】

熱可塑性組成物がさらに架橋剤を含有する、請求項8記載の熱可塑性組成物。

【請求項10】

被覆材料、封止材料または接着剤を製造するための請求項1から6までのいずれか1項記載のポリエステルの使用。

【請求項11】

請求項1から6までのいずれか1項記載のポリエステルの繰返単位を有する被覆材料、封止材料または接着剤。

【請求項12】

粉体塗料を製造するための請求項1から6までのいずれか1項記載のポリエステルの使用。

【請求項13】

請求項1から6までのいずれか1項記載のポリエステルの繰返単位を有する粉体塗料。